



# 週刊はばたき

2020年  
10月23日  
第22号

やさしく つよく あたらしく

佐渡市立新穂中学校 電話：0259-22-2067 メール：niibo-js@sado.ed.jp

## 新穂中学校の1日の水道使用量は？

20日(火)のSDGs全校授業では、「水と食物」の学習をしました。地球上で生活に使える水は、たったの0.8%！1日の生活に必要な水の最低量50ℓを確保できない国が62か国あるなど、多くのことを知り、考えさせられました。

新穂中学校では、庁務員さんが水道使用量を毎日量っています。新穂中の9月の水道使用量は約52,000ℓでした。一人が1日約31ℓ使ったことになります。もし、私たちが50ℓしか水を使えないとしたら、家では残り19ℓしか使えません。実際、日本でも地震などの災害に遭われた人たちは、1日50ℓに満たない生活を経験しています。

また、こんな話があります。水道のない国から来日した人が、蛇口から水が出るのを見て感動し、おみやげに蛇口を買い求めたとか。自宅にも蛇口を付ければ水が出ると勘違いしたそうです。世界には水道のない国があることを物語るエピソードですね。

## 学びを通して、いろいろな見方や考え方を身に付ける



今回の学習を通して、水や食物への見方や考え方が変わった人もいます。

左の絵は、世界で最も有名な「だまし絵」です。19世紀に描かれたそうです。皆さんは、何に見えますか？若い女性に見えた人はいませんか？老婆に見えた人はいませんか？目に映る像は誰もが同じでも、見方が異なると違ったものに見えますね。

学校では、授業を通して教科固有の見方や考え方を学びます。そして、SDGsでは学校で身に付けた知識・技能・見方・考え方を駆使しながら、身の回りの課題解決に取り組みます。

## いろいろな立場の人・こと・ものの目線に立って考える



左は、3年生の土木体験授業でドローンが撮影した写真です。

地面をはっているアリや空を飛んでいる鳥たちの目には、校舎がこんなふう映っているのでしょうか。相手の立場に立って考えるということは、相手の目線に立つことなのかもしれません。

ある学者によると、一人の人間が生涯に会うことのできる人の数は、約3千人といわれています。世界の人口が約66億人ですから、人と人が出会う確率は？こうしてみると、新穂中での今の出会いは、まさに奇跡ですね。けれども、新聞・ニュース・ネットでは、いろいろな立場の人・こと・ものを知り、交流することができます。



SDGsでは、いろいろな立場の人・こと・ものを知り、互いを思いやりながら17の目標達成を目指します。

【学校の様子】



10 / 14 (水) 1年生新穂探訪 トキのテラス、トキ交流会館、新穂青木おやつ店、マッテラート



1  
0  
/  
1  
4

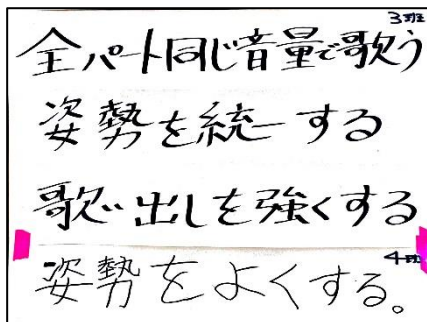
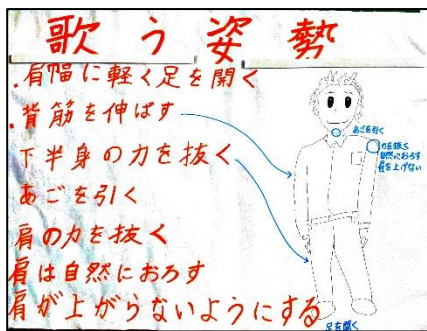
(水) 2年生島内探訪 琴浦洞窟、宿根木散策、たたこう館



10 / 14 (水) 3年生合唱練習 練習過程に学びと成長あり、苦勞の先に成就感あり



文化祭ポスター 末武佑理さん作



1年生掲示物 合唱の心構え



前掲 水と食物の学習